

校 園 名：岡山大学教育学部附属特別支援学校

所在地：〒703-8282 岡山市中区平井三丁目914 電話番号：086-277-7431

記載日：平成28年5月20日 記載者：竹本俊哉 記載者役職：副校長

貴校の校風、おおまかな特色について

教育目標「小学部・中学部・高等部の課程を通して調和のある一貫した指導を行い、児童生徒の全人的な発達を促し、積極的に社会生活に参加できる人間の育成を目指す。」

- ・ 自立し社会に参加できる人間の育成を目指す学校
- ・ 教育学部との協働により、特別支援教育に関わる実践的指導力を有する教員を養成する学校
- ・ 地域における特別支援教育のセンター的な役割を果たす学校
- ・ 岡山大学教育学部及び岡山大学教育学部附属学校園と協働し、地域への情報提供や人材提供を積極的に行い、岡山県の教育推進の中心的な役割を果たす学校

指導の重点

小学部 … みんなといっしょにのびのびと
 中学部 … 仲間とともに生き生きと
 高等部 … 心豊かにたくましく
 発達支援室… 一人一人のニーズに応じて

貴校の卒業生の活躍状況について

①追跡調査

追跡調査は行っていない。

②把握状況

同窓会と連携し、卒業生の現状の把握に努めている。

③活躍状況の具体

(1) 高等部卒業生の進路状況

卒業年次	生徒数			進路先					備考	
	男	女	計	就職	家業	家事	施設	進学		その他
昭和45～平成15年	208	129	337	202	5	13	111		6	昭和45年度が第1期
平成16年	4	4	8	2			5	1		
平成17年	6	3	9	3		1	5			
平成18年	4	4	8	2			6			
平成19年	4	4	8	3			5			
平成20年	3	5	8	4			4			
平成21年	8	0	8	1			7			※平成22年から就職は、就労継続A型事業所を含む
平成22年	6	2	8	3			5			
平成23年	5	2	7				7			
平成24年	4	3	7	2			4	1		
平成25年	4	2	6				6			
平成26年	7	0	7	3			4			
平成27年	4	3	7	4			3			
合計	267	161	428	229	5	14	172	2	6	

(2) 高等部卒業生の就職先

就 職		合計
製造業	金属加工	1
	食品製造	4
	製本	1
サービス業	事務補助	6
	清掃	12
	製品管理	3
	販売	1
	厨房	3
	軽作業	1
合計		32

(平成13年～27年)



貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について

①追跡調査

行っていない。

②把握状況

継続的に把握しているところはない。

③状況

校長・教頭等管理職，指導教諭，教育委員会指導主事等となって活躍している教員が多数いる。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて

①主体的な学習態度を育成する授業づくり

- ・「自立活動の指導」「教科や領域を合わせた指導」の授業づくりに積極的に取り組み，子どもたちの自立と社会参加に必要な力を身に付けさせるための授業改善を行っている。また，校内講師による研修や相互授業参観を通して，小・中・高の教育活動の充実と一貫教育の推進を図っている。

②地域との連携を強め，社会生活の中で生きて働く力の充実を図る教育活動

ア 外部人材の活用 … 地区婦人部との交流

- ・ 中学部作業学習にボランティアとして参加していただき，製作している織物製品の教材の準備や仕上げや等と一緒にしながら交流。



イ 公民館での活動

○作業学習の販売学習（中学部，高等部）

- ・ 10日間程度ロビーで製品展示の後，数時間の場所の提供を受け，地域の方々に織物製品（中学部）や焼き物（中学部・高等部）を販売。
- ・ 高等部は，月に2回程度作業学習の時間に場所の提供を受けて野菜を販売。
- ・ 作業学習として公民館の窓の清掃。

○作業学習（リサイクル）のアルミ缶の収集（高等部）

- ・ 作業学習で行うリサイクル学習で使用するアルミ缶の収集箱を設置，定期的に回収。

○公民館クラブ活動への参加

- ・ 総合的な学習の時間の取組として，公民館を会場に活動している様々なサークルと一緒に活動する交流を実施（中学部：H26パソコンクラブ 女声合唱サークル うらじゃ踊り，H27茶道クラブ 染色クラブ 女声合唱サークル）。

ウ 地域の公園清掃

○現場実習（高等部1年生の校内実習），生活単元学習「公園を清掃しよう」での除草作業。

エ 老人ホーム入居者との交流

○総合的な学習の時間の取組みとして，老人ホームでうらじゃ踊りなどを披露したり，一緒に踊ったりして交流（高等部）。



販売学習



公民館クラブ活動との交流



公園清掃

オ 地域の幼稚園のバザーに参加

- ・高等部農耕作業班が収穫した野菜等を幼稚園のバザーで対面販売。陶芸班は注文受注販売を実施。

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

- 1 特別支援教育に関する**実践的な研究**を行い、その成果を積極的に発信すると共に、定期的に**現職教員研修**を行うことで**岡山県の教育研究の中心的な役割**を果たす学校
 - ・特別支援教育に関する研究成果を提供する研究協議会、研究発表会を毎年開催
 - ・魅力ある授業づくりについての実践発表や講義を通して学び合う授業づくり研修会の開催
(岡山大学教育学部特別支援教育講座と連携し、月1回実施。平成27年度は全7回で227名が参加。平成28年度は11回開催予定。初回は49名の参加)
 - ・岡山県総合教育センターや特別支援学校等からの要請に応じて教員を講師として積極的に派遣し、地域の教員の専門性向上に貢献
 - ・在籍2年目の教員が附属での学びの成果を前任校で発表する研修を新設。
- 2 附属の特徴を生かした教育研究・研修等を通じて、**教員の専門性を高める学校**
 - ・学校研究推進組織である研究推進委員会、定期的に学部単位で実施している研究班会、全員で協議し、共通理解を図るための研究全体会などの組織・体制整備
 - ・岡山大学教育学部教員・大学院生と連携しながら、創意ある教育活動を実施。
 - ・京都教育大学附属特別支援学校や鳥取大学附属特別支援学校等他附属の特別支援学校との教員の交流研修の実施
- 3 岡山大学教育学部のカリキュラムに位置づけられた充実した実習を行い、**地域に求められる教員(地域の教育的課題に対応できる実践的指導力を備えた教員)を養成**する学校
 - ・教員養成コア・カリキュラムに基づく、理論と実践のサイクリックな学びを可能にする教育実習



- ・1年次から4年次まで段階的に教育実践力を身に付ける積み上げ方式による教育実習

1年次	学校教育教員養成課程・養護教諭養成課程	… 観察参加実習
2年次	特別支援教育コース2年次特別支援教育実習	… 主免実習(1週間)
3年次	特別支援教育コース3年次特別支援教育実習 特別支援教育特別専攻科特別支援教育実習 養護教諭3年次実習、養護教諭特別別科実習	… 主免実習(3週間)
4年次	副免許特別支援教育実習	

※主免実習は、2年次と3年次に分けて段階的に実施している。目的は、

- 2年次
 - ・特別支援学校で行われている授業の実際や児童生徒の実態を知る。
 - ・知的な障害のある児童生徒を対象とする特別支援学校の教育の概要(教育課程等)を知る。
 - ・特別支援教育における研究課題を明確にする。
 - ・教職への動機付けをする。
- 3年次
 - ・教師としての態度や姿勢を身に付ける。
 - ・特別支援教育の実践化を図る。
 - ・教育理論や専門的知識・技能の研究に取り組む姿勢を養う。
 - ・特別支援教育における研究課題をより明確にする。



であり、学生が段階的に学びを深化させるべく、学生の意識の流れと適切な経験の積み重ねを重視した実習を計画している。

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

日本の教育の進展のためには、絶え間ない教育研究が必要である。**本質的な教育課題の解決のための研究を先進的・継続的に行う学校**として附属学校が存在すると考える。

岡山大学附属学校園は、**地域の教育課題の解決につながる教育研究**を行ってきた。ここ何年間では、今日的課題である「**幼小中の一貫教育の研究**」と、特別支援教育の主要な課題である「**主体的な社会参加をめざす研究**」を行った。その際、「一貫教育合同委員会」を組織し、定期的に協議を重ね、教育学部と附属学校園が協働的に研究を進めていった。そして、領域・教科ごとに、あるいは学部等の単位でのカンファレンスを重ねるなどし、教育学部教官の研究理論に基づいた指導助言等の支援が附属学校園の教育研究の充実を支えている。また、「**岡山大学教育学部附属学校園地域運営委員会**」を設置し、地域の教育課題とその解決について、教育委員会と意見交換や情報交換を行っている。更に、教育委員会及び公立学校との連携では、研修会の会場校として、また講師を派遣するなどして、附属学校園の役割を果たしている。

これらを進めるに当たり、一人一人を大切にす学級・学年・学校の雰囲気・風土を築くことを授業づくりの基盤とする。ここでも、学部や附属学校園間の連携を図っている。「**岡山大学教育学部附属学校園特別支援コーディネーターの会**」は、こういった環境づくりの在り方について教職員の理解を深めるとともに、個々の子供に12年間のつながりのある支援を行うための附属学校園連携組織の一つである。この組織体制は地域の学校に対して学校園づくりのモデルとなると考える。

地域の教育課題の解決に寄与する教育研究

グローバル時代を生きる力[21世紀型能力]をはぐくむ教育研究

